

大谷学会

◇研究発表会

十月二十六日(金)午後一時～

於 響流館メディアホール
久多の木造五輪塔

本学教授 宮崎健司

「入法界品」における夜天善知識の意

義 本学教授 一色順心

人間学と文学―18世紀ドイツの場合

本学准教授 廣川智貴

喪失と悲嘆―悲嘆のはたらきについて

の考察― 本学教授 佐賀枝夏文

真宗総合研究所

◇真宗総合研究所委員会

十二月二十五日(火)午前十時～

於 博綜館第四会議室

・研究所紀要の投稿規定について

・二〇一三年度「一般研究」の採択に

ついて

・モンゴル国立大学との学術交流協定
について

・造営史関連出版について

真宗学会

◇第一回真宗学会例会

七月四日(水)午後四時二十分～

於 尋源館一〇三教室

卒業論文梗概発表会

本学大学院修士課程第一学年 六名

◇第二回真宗学会例会

十月三日(水)午後二時四十分～

於 尋源講堂

親鸞思想における『浄土論註』の意義

本学大学院博士後期課程第一学年

中山量純

親鸞の問答の背景

―三不三信の誨を依り処にして―

本学大学院博士後期課程第二学年

山元一志

◇真宗学会大会

十月二十五日(木)午後三時～

於 尋源講堂

『教行信証』の核心

本学教授 延塚知道

逆説弁証法の射程―キェルケゴールと

親鸞をめぐる―

静岡大学名誉教授 山下秀智

◇真宗学科第二学年

比叡山登山・フィールドワーク

十月二十七日(土)

午前九時集合、午後二時比叡山延暦寺

根本中堂前で解散(演習Ⅱの授業の一

環として第二学年の学生と担当の教員

が参加)。

◇第三回真宗学会例会

十月三十一日(水)午後二時四十分～

於 尋源講堂

親鸞の仏性観

―「真仏土巻」を中心に―

本学大学院博士後期課程第一学年

宮谷啓法

「信巻」における親鸞の唯信仏語

本学大学院博士後期課程第二学年

天山信楽

◇修士論文中間発表会

十一月七日(水)午後四時二十分

於 二号館二二〇一教室

阿闍世の獲信―難治の機の救い―

佐々木真幸

願生浄土

本願成就の仏道

光井栄史
神坂恵行

◇第四回真宗学会例会

十一月二十一日(水)

午後二時四十分

於 尋源講堂

曾我量深における求道の探求

―「精神主義批判」を通して―

本学大学院博士後期課程第一学年

安西 廉

欲生心の展開―帰本願と三願転入―

本学大学院博士後期課程第一学年

橋本彰吾

◇卒業論文中間発表会

十一月二十九日(木)午後六時

於 二号館二三〇一教室

念仏とは何か

―親鸞の言葉をとおして―

回心―三願転入の文に拠って―

三明智顕

自信教人信―「自信」の確立とは―

藤井 映

無明長夜の燈炬―現代の苦悩と浄土真

宗―

心に生きる真宗とは―踊躍歡喜のこ

ろなし―

親鸞の救済観

照岡祐美

◇真宗学演習Ⅰ特別講演会と座談

十二月十一日(火)午後一時

於 響流館メディアホール

学ぶこと・わかること

前大谷中・高等学校長 真城義磨

◇第五回真宗学会例会

十二月十二日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

いのちと光に出会う

―3・11から今日までの想い―

本学准教授(歴史学科) 東館紹見

仏 教 学 会

◇研究発表例会

七月五日(木)午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室

初期・部派仏教における仏の身体の無

漏性・有漏性について

本学講師 新田智通

十一月八日(木)午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室

『坐禪三昧経』と『達摩多羅禪経』

本学准教授 采翠 晃

大乘における分別と正性決定―初期大

乗經典と唯識論書を中心に―

本学任期制助教 松下俊英

◇史跡踏査

十一月二十八日(水)

奈良県葛城市当麻寺と信貴山を大学の

バスで訪問した。

◇公開講演会

十二月十三日(木)午後四時二十分

於 響流館メディアホール

仏教の伝播―異文化交流の視点から―

龍谷大学教授 入澤 崇

西洋折子会・倫理学会

◇秋季公開講演会

十一月一日(木) 午後四時二十分～

於 尋源講堂

同情について

—ショーベンハウアーとニーチエー

大阪大学大学院文学研究科教授

須藤訓任

宗 教 学 会

◇第三十一回「大拙忌」記念公開講演会

七月十二日(木) 午後四時二十分～

於 響流館メディアホール

東日本大震災の名もなき神さま

～遺体と遺族を支えたものは何だったのか～

作家 石井光太

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月二十八日(土) 午後一時三十分～

於 響流館メディアホール

・研究発表(午後一時四十分～)

龍安寺の歴史と文化財 大平敏之

一宮市の文化財行政の現状と課題

石黒智教

日本近代仏教史研究と「鎌倉新仏教」

論 福島栄寿

寺と出挙と地域社会 堅田 理

・総会(午後四時五十分～)

・懇親会(午後五時二十分～)

於 一号館学生談話室・

ビッグバレーカフェ

◇大谷大学日本史の会九月例会

九月二十九日(土) 午後二時～

於 響流館演習室三

生成の鮭(鮭)の再検討―鮭(鮭)の

歴史における飯の食用について―

櫻井信也

◇大谷大学日本史の会十一月例会

十一月二十四日(土) 午後二時～

於 響流館演習室四

近世期における越中立山の宗教争論

―声咩寺を中心として― 安川美希

文 藝 学 会

◇公開講演会

七月四日(水) 午後一時～

於 響流館メディアホール

『続日本紀』宣命の表現―漢語から日

本語への翻案をめぐって―

本学任期制助教 根来麻子

うたの場への想像力

滋賀大学教授 亀山 朗

◇『文藝論叢』第七十九号発行

(十月A5判一四四ページ)

『希望』と命令―杉山平一の詩に普遍

化を強いるもの― 國中 治

墨家における「死」の観念について

嘉村 誠

『発心集』構成新考(巻一―巻三)

―永観話の神宮本本文を手掛りに―

李 曼寧

近世の高僧伝類と明恵上人伝記―『伝

灯広録』後巻第二 洛西栴尾日照高

山寺開祖高弁伝― 野村卓美

《文藝学会公開講演会・筆録》

『続日本紀』宣命の表現―漢語から日

本語への翻案をめぐって―

本学任期制助教 根来麻子

《文藝学会公開講演会・筆録》

うたの場への想像力

滋賀大学教授 亀山 朗

『新京図書館月報』からみる「満州国」

時代の文化 李 青

国文学会

◇先師法要および講演会

十月六日(土) 午後一時三十分

於 尋源講堂

先師法要厳修

導師 石橋義秀

『方丈記』やぶにらみ

同朋大学特別任用教授 沼波政保

中国文学会

◇佐藤義寛先生追悼の会

八月一日(水) 午後一時三十分

於 尋源講堂

◇卒業論文中間発表会

十月三十日(火) 午後一時

於 響流館マルチメディア演習室

『駱駝の祥子』から見る人力車夫の生活

池田杏里

『聊齋志異』における狐、及び幽霊との婚姻譚について

小川健太

『日の出』の陳白露から見る女性像

中島徳子

『三国志演義』における軍師像

平井ゆりか

李白と妻とその詩について

平田 望

『蕭蕭』から見る童養媳の実態

渡邊亜樹

◇学術公開講演会

十二月十日(月) 午後二時四十分

於 尋源講堂

占いとは何か―易の世界

国際基督教大学教授 古藤友子

西洋文学研究会

◇年次大会

七月二十一日(土) 午後二時

於 博綜館第五会議室

①総会

②研究発表(午後二時四十五分)

マルグリット・デュラスの非・政治的姿勢―『ヒロシマ私の恋人』をめぐって―

青木佑介

オルトンスは何故タルキングホーンを殺したのか?―『荒涼館』における

「構造的関係」について―

渡部智也

シユタウフェン期宮廷叙事詩における

「読むこと」の意味について―『パ

ルツイヴァール』の例を中心に―

青木三陽

英文学会

◇年次大会

十二月六日(木) 午後四時二十分

於 一号館一三二〇教室

研究発表

日本の少年少女雑誌で描かれる『ハム

レット』 三浦誉史加

卒業論文中間発表

①トルーマン・カポーティ『ティファ

ニーで朝食を』について 高野 碧

②アレックス・シアラー『スノーードム』について 西川航平

教育・心理学会

◇公開講演会

十月三十一日(水)午後四時二十分

於 五号館五二〇三教室

フラワー・ベイビীর授業実践

岡山大学教育学研究科教授

佐藤 園

CGアニメの新しい可能性

株式会社ドーガ代表取締役社長

鎌田 優

第二部・討論会「製作現場からみるアニメ産業の現状と展望」

ニメ産業の現状と展望」

株式会社サンジゲン代表取締役社長

松浦裕暁

有限会社パーナムスタジオ

代表取締役社長 里見哲朗

株式会社ライデンフィルム

プロデューサー 岩城忠雄

人文情報学科

◇シンポジウム

ポップ・カルチャー進化論ビジュアル 視覚コン

テンツの現在・過去・未来

八月六日(月)午前十一時三十分

於 講堂

第一部・講演会「アニメの来た道」

歴史からみる視覚コンテンツと音楽

本学非常勤講師 生田敦司

〈ここでないどこか〉を求めて

本学准教授 采肇 晃

短期仏教科

◇第二学年卒業研究中間発表一夜研修会

九月十四日(金)～十五日(土)

於 湖西キャンパスセミナーハウス

第二学年の一夜研修会を開催。十月三十一日の卒業研究の提出に向けて、中間発表会と教員を交えての懇談会を行

った。